

各教室の取り組み

2012年12月15日

制作 滋賀県障害児地域療育連絡協議会
<http://www.shiga-syouchiren.net/>

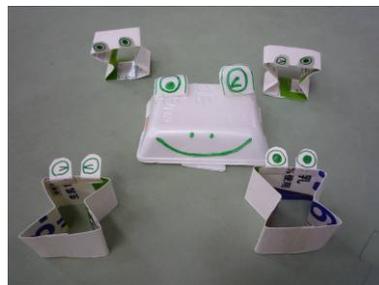
「あすなろ教室」の手作りおもちゃを紹介します。身近な素材を利用して、子どもたちが見たり、触れたり、興味をもって楽しめるよう工夫しています。

☆手作りおもちゃ☆



いたずらティッシュ BOX

引っぱると、手触りの違う布やビニールがどんどん出てきます。



ピョンピョンガエル

お母さんガエルはトレイとゴムで、子どもガエルは牛乳パックでできています。



パクパクアニマル

鈴とお餅型の鳴き笛が入っていて、音が鳴ります♪



いないいないばあ

「いないいないばあ」と顔がのぞくと子供たちは大喜び♪さっきまで泣いていた子も泣き止んでくぎづけで見えています。

☆ 子どもたちの遊びの様子 ☆



手作りおもちゃを通じて、お友達との繋がりも広がります。

あゆっ子教室

あゆっ子教室では、年齢や発達段階に合わせて様々なグループを編成しています。今回は、5歳児で構成されたグループの活動をご紹介します。このグループでは、他にも『買い物』や『クッキング』の活動も予定しており、子ども達の社会性や仲間意識を育てたいと考えています。

図書館で絵本を借りよう



教室で『図書館での約束』と『歩く時の約束』を聞いた後、今日はお母さんも一緒に出発です。



図書館に入る前に、「絵本の借り方」について手順を示した絵カードも交えながら話を聴きます。



自分の図書カードを自分で手渡します。



お疲れ様。
約束もちゃんと守れたよ！

スヌースレンルーム



小児保健医療センター療育部です。
子どもたちの大好きな部屋を紹介します。

入り口は保育士
の手作りです



スヌースレンの
お部屋に
ついたらよ



がたんごどん
がたんごどん



キラ キラ
キラ キラ



わあ・・・
あわがでてきた
きれいやな



さわって
みたいな

泡つかめ
るかな？



日野町早期療育事業 「くれよん」

【「くれよん」って??】

「くれよん」は、平成20年度に日野町単独の早期療育教室としてスタートしました。

「くれよん」では、心身の発達に何らかの課題があったり、その心配（心身の障がい、ことばが遅い、落ち着きがない、友達と遊ばない、発育が遅いなど）がある子どもさんとそのご家族とともに、子どもたち一人ひとりに応じたかかわりを大切にしています。

【屋台】

★夏といえば…屋台！

・5歳児グループでは、お母さん方をお願いして、焼きそば、焼きとうもろこし、フランクフルト、かき氷、スーパーボールすくいの5つの屋台を出店してもらいました。必要な材料（割り箸、紙皿など）は、事前に療育の中で子ども達が近江鉄道に乗って隣町まで買い物に行き、屋台の日を楽しみにして待つことができました。当日も子ども達は近くのスーパーに食材を買いに行き、遊具サーキットなどで遊ぶ間、お母さんたちに準備・調理をしていただきました。

★ドキドキ！ワクワク！

・せっかくの屋台、お買い物には本物の10円玉を使いました。店員さん（お母さんとスタッフ）の「いらっしゃい！」の声に少し恥ずかしそうにしながらも、「30円です。」などそれぞれのお店で値段を聞き、財布から必要な枚数を数えて言葉やお金のやりとりの経験をしました。



★美味しい！

・5つの屋台全てでお買い物した後はお母さんと一緒に席に着き、親子でいただきました。自分たちで材料を買いに行き、お母さんが作ってくれた料理の味は最高！お母さんの分まで食べちゃう子がいるほどでした。

【今回の屋台で大切にしたこと】

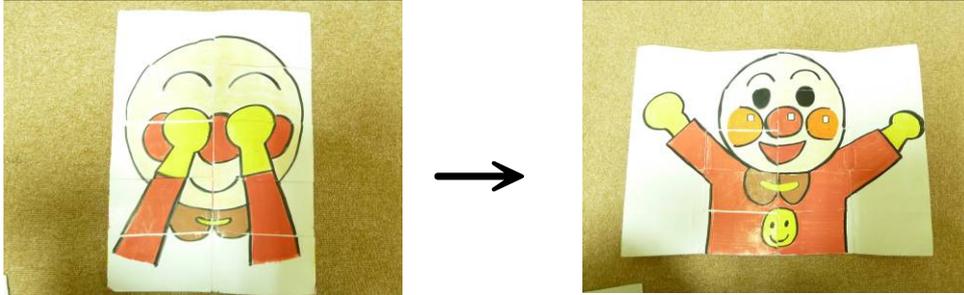
- ・“目で見てすぐに分かる”環境の設定を工夫しました。屋台の看板はもちろん、それぞれのお店で必要な金額はシールで示し、シールと同じ数の10円玉を財布から出してお金を払いました。スーパーボールすくいでは「いくつすくって遊んでも、持って帰るのは3つ」という決まりを、シールの数で知らせました。
- ・かき氷機は電動のものではなく、手動のものを使いました。子ども達が自分でハンドルに力を込めてグルグルと回して作りました。ハンドルに適度に力を入れながら回すこと、もう片方の手をかき氷機に添えて安定させること、出てくる氷を確認しながらまんべんなく入るように器の位置を変えること、と3つのことを同時に考えながらできるように言葉をかけました。

長浜市こども療育センター浜の子園

浜の子園は発達上なんらかの課題を持つ子どもたちとご家庭のためにひとりひとりの発達を支え、ご家庭、保育・教育機関で豊かに生活していけるように援助しています。今回は園で作った手作り教材をご紹介します。

☆いないいないばあ☆

低年齢のお子さんに大人気。顔を隠しているキャラクターがいないいないばあをしてくれます。図版の両端を横に引っ張ることで隠れていたお顔が現れる仕組みになっています。



☆虹色のさかな☆

誰でも楽しめるおはなし。お腹を空かせた白い魚がトマトやキュウリを食べて身体の色を次々と変えていきます。年長さんになると「次はみどり」と変身する色を当てたり、低年齢のお子さんは色が変わることに目をキラキラさせて見てくれます。



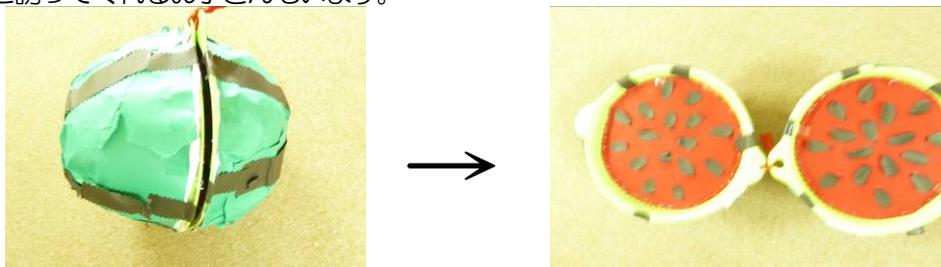
☆だるまさんがねた☆

「だるまさんが…」の掛け声の後に出されるだるまさんの札。だるまさんがしている動きをみんなが真似をして楽しめます。



☆すいかわり☆

夏にしたい「すいかわり」！手作りスイカを棒で叩くと半分に割れます。おいしそうなお中身をみて思わず食べる真似をしてしまうお子さんもたくさんいます。夏が終わっても「すいかわりしよう」と誘ってくれるお子さんもいます。



近江八幡市子ども療育センター『ひかりの子』

手作りおもちゃを紹介します



1. いちごの手あそび
ちっちゃないちごがいました
まだまだぼくたちあおいけど
おひさまいっぱいあびて
まっかっか まっかっか まっかっか
なるぞ

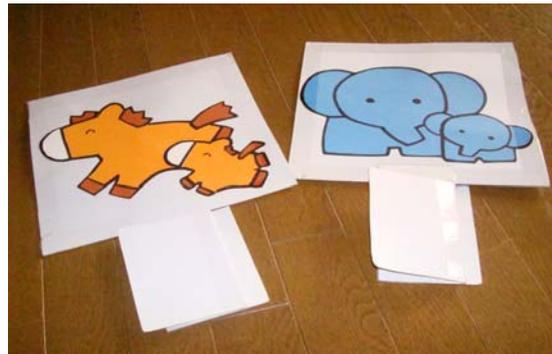


この手あそびをした後、本当のいちごを収穫したり、緑から赤に変わる様子を見ています。



2. 数字のうた
すうじの1は、だあれ
ぞうさんでした
すうじの2は、だあれ
うまさんでした

両端をもってひっぱると……
裏がえって動物がでできます。
数字の歌にあわせて10まで歌います。
歌が終わった後は、子どもたちもやってみて楽しんでます。



フェルトで子どもたちの身近な物を作り
裏にマジックテープをつけてつけたり剥したりしてあそんでいます。

米原市こども療育センター ひまわり教室

ひまわり教室では、日々の療育のほか、夏祭り、ファミリーレクリエーション、クリスマス会、お楽しみ会など、さまざまな活動や行事を通して、子どもたちの心と身体の豊かな育ちをめざしています。

今回は7月7日（土）の午前中に実施しました、夏祭りのコーナーのひとつを紹介します。

といの中にボールを転がしてコロコロコロ…。
ノントンの待つゴールは楽しい音がするよ。
よ〜く聞いていてね。



迷路の中にボールを転がして、さあ何色のゴールに入るかな？ゴールしたお家の中には、おいしいお菓子のプレゼント。
どこに入るかは、
お楽しみ！

その他にも、トウモロコシの皮むき体験やヨーヨー釣り、ブラックシアター、おやつコーナーなどのお楽しみがあり、子どもたちとご家族とで笑顔いっぱいの楽しい時間を過ごしました。

センター紹介

いちご園は、滋賀県最北にある長浜市の療育センターです。平成22年1月の市町合併により、長浜市内全域からいちご園に通園されるようになりました。湖北の緑豊かな自然環境を生かし、子どもたちがさまざまな体験ができるよう遊びや活動の内容を設定しています。

■ あそびの紹介

今回は、教室周辺の秋の様子と遊びをテーマにしてみたいと思います。

いちご園の近くには歩いて行ける公園が多くあります。特によく出かけるのがいちご園の向かいにある森の内公園です。ここにはドングリの木や広葉樹がたくさんありますので、秋になると黄色や赤の紅葉でいっぱいになります。また色々な種類のドングリが落ちています。子どもたちは落ち葉やドングリを拾ったり、ドングリの数を数えたり、担当と数を競ったりとそれぞれの散歩を楽しみます。また、教室周辺の散歩コースに秋を見つけながら、地図を片手にウォークラリーを楽しみます。拾ったドングリを制作遊びの中で、素材として取り入れたりしています。

普段の教室にはない開放感を感じながら、子どもたちは普段とは違った様々な表情や、生き生きとした姿を見せてくれます。初めての場所や慣れない活動に戸惑いを感じる子どももいますが、子どものペースに合わせながら関わっています。

また、自然あふれる開放的な環境の中では子どもたちもリラックスでき、友だちや先生といろいろな交流が持てます。いちご園では欠かせない、この季節ならではの活動です。

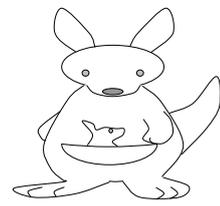


いちご園周辺の様子

ドングリを拾いながらこの森を抜けて公園に行きます



高島市カンガルー教室



当教室は、高島市在住の乳幼児とそご家族を対象とした療育施設です。在住児（未就園の子どものクラスと、併行通園児（保育園・幼稚園等に通っているお子さん）のクラスがあり、それぞれ親子あそびや発達に応じたあそびを行っています。子ども達の「一緒にあそぶの楽しい」「もう一回したい！！」という気持ちを大切にしています。

【施設名の由来】

「子どもを大切に育てながら、母子共に力強く飛躍したい」という思いをこめて母子教室時代（S48年～S57年）に通所された方々が、命名されました。



毎日ボードを使ってその日の活動を知らせています。



1. ハンバーグ・ハンバーグ
むしゃむしゃむしゃむしゃ
ハンバーグ



2. ピーマン・ピーマン
むしゃむしゃむしゃむしゃ
ピーマン



3. スープ・スープ
ごくごくごくごく
スープ



4. しいたけ・しいたけ
むしゃむしゃむしゃむしゃ
しいたけ

自然いっぱいのさんぽコース



かわいい木のお家は、みんなの人気ものです。

教室を一步出ると、目の前に車やバスが走る道があり、高架を電車が通り、近くには警察署のパトカーがあり、乗り物好きの子ども達には、たまらない環境です。また、教室から150m程東にはびわ湖が広がっています。季節の草花や虫、川、鳥、行き交う人々に出会い、ゆっくり道草を楽しみながら目的のびわ湖に向かいます。石投げをしたり、波が寄せて還す様子を見たり、竹生島行きの船に手を振ったり、砂浜に絵を書いたり、貝殻を拾ったり思い思いのあそびを楽しんでいます。また、夏は水あそび、冬から春にかけては渡り鳥のエサやりと季節ならではのあそびも楽しんでいます。



甲賀市 こじか教室



“水泳療育”について紹介します！！

～ みんなが大好き水遊び ～

ねらい 水の感触を親子で感じながらスキンシップを図ることや教室以外の施設を利用することで生活の経験を広げることを目的にしています。

対 象 こじか教室全児童

実施場所 甲賀市甲賀B&G海洋センター

1歳児から年長児まで
いろいろな年齢の子どもたちが
一緒に楽しく参加しています。

1日の様子



体操

だんだん
上手に
なってきたよ

こじか教室での水泳療育の歴史は古く、1989年より始まっています。当初は水口スポーツセンターwellbeで専任コーチの指導を頂きながら子どもたちと入水しました。その後、こじかのスタッフで滋賀県立障害者福祉センターのプールで実施。現在は、甲賀B&Gのプールを月1回お借りしています。

子どもたちの笑顔がすてきななので長く続いているのかな。



水なれ

足バタバタ
顔バシャバシャも
平気になったよ

ベビープール



好きなおもちゃ
すべり台
とっても楽しいよ



深いプール

おうちの人に
抱っこされて、
横揺れ、
水中ドボン、
フクフクパァを
がんばってるよ



昼食

みんなで食
べるとおい
しいよ



芝生広場

ごはんの後
はアスレチ
ックで遊ぶ
よ

めだかの学校

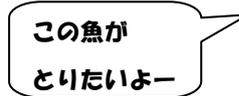
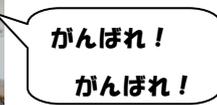
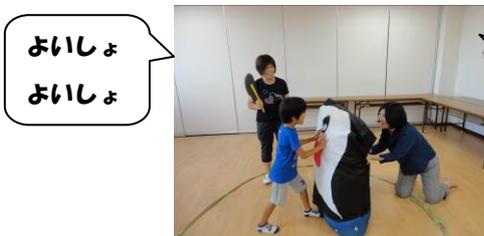
《お父さんの学習会》

めだかの学校では、5歳児の保護者を対象に年間を通して就学学習会を行っています。「お父さんのための就学学習会」は、その中のひとつの行事です。主な内容は、①最近の学校事情や学校とどう向き合うか、②就学までの流れと就学後、③お父さんたちが子どもや学校とどうむきあうか、④先輩お父さんへのインタビューです。毎回の学習会の参加は、どうしても母親参加となる傾向があり、父親は情報を収集する機会が少なくなります。「参加することで、お母さんとの話しについていけるようになった!」と喜んでおられるお父さんや「先輩のお父さんの話を聞くことが出来て参考になった。」という感想が寄せられました。



《なつまつい》・療育の中で、おうちの人と一緒にコーナーを回って遊びます。

おぼけ相撲・すぐに倒れないようにおうちの人に押してもらいます。



魚つり・大きなプールにウレタンの魚を浮かべて釣ります

他に、カキ氷、わたあめ、フランクフルトと一緒に食べて、過ごします。

《おでかけ》

センターの前に巡回バスの停留所があることから、療育の時間内でバスに乗って、マーガレットステーションや、児童館などにお出かけします。ステップが低く乗りやすい、窓が大きく外の景色が見やすいので、子ども達も大好きです。

バスの中では、他のお客さんもおられるので少々緊張・・・降りるときには、運転手さんに「ありがとう!」って、大きな声であいさつします。



ちょこっとバス

大津市立東部子ども療育センター のびのび教室

<取り組み>

のびのび教室は、平成23年4月に大津市東部にオープンした療育センターです。保育園・幼稚園就園前の2・3歳児の子どもたちが約40名通っています。

あそびと生活〔食べる・排泄する・着替える・寝るなど〕を基本に療育しています。友だち一人ひとりの姿が見えやすいよう、おとなが子どもの気持ちやつもり、喜びや悩み、つぶやきに思いを寄せられるよう、小さな集団で過ごしています。

児童発達支援事業	週5	2クラス	各クラス10名程度	親子登園(週2)/単独登園(週3)
発達支援療育事業	週2	2クラス	各クラス10名程度	親子登園(週1)/単独登園(週1)

※保育時間は10時～15時15分(昼食・おやつ・午睡・バス送迎有)

琵琶湖畔に位置したセンターです。



好きなあそびをみつけて遊ぶこと
身体をつかって繰り返し遊ぶこと
を大切にしています！！



<通園バスにのって・・・>

のびのび教室では、バスでの送迎を行っています。初めはお母さんと離れ不安な表情でバスに乗っていた子どももいました。毎日バスに乗り、車を見たり、歌を口ずさんだり・・・それぞれの楽しさを見つけていくうちに、張りきってバスに乗り込む姿が見られるようになりました。バスに乗って親子で公園やプールに出掛け、友だちと共通の実体験を重ねています。



<畑での収穫、クッキング ～“自分でつくった”～>

のびのび教室の園庭には小さな畑があります。「大きくな～れ」と言いながら、楽しんで水遣りをし、夏には、トマト、キュウリ、ナス、秋には、サツマイモをたくさん収穫しました。“なにしてるの”“いいにおいだな”と自分たちが関わることで食事を楽しみにする姿が出てきています。

採りたての夏野菜を目の前でクッキング！！



食事子どもたちと一緒にもらいにいきます。
生活の中にも楽しみをみつけながら過ごしています。



『 にこにこ教室 』

にこにこ教室は……

野洲市に在住の心身に障がいのある就学前の子ども、または、その疑いのある子どもとその保護者のための療育教室です。

子どもたちが、まわりの世界に目を向け自ら関わっていかうとする姿を大切に、大人や友だちと関わって遊ぶ楽しさに気づいていけるようにし、そして保護者がそれぞれの子どもの特性を受け止め、ともに子どもの歩み(成長)を支えていけるように支援しています。

今回は子どもたちが大好きなペープサートを紹介します。

『ジャングルポケット』



♪ジャングル ポッケ、ジャングル ポッケ
ジャングル ポッケ～ ♪

曲が始まると笑顔で手拍子を始める子どもたち。

それぞれが好きな動物を選び、自分の動物の番の時にその場所に貼ります。



初めは早く出すぎたり、動物を貼る場所が分からず違う場所に貼っていた子どもも経験を重ねると自分の番をワクワクしながら待ち、上手にマッチングできるようになりました。

『おはなしゆびさん』

これも歌に合わせてお父さん、お母さん…を貼っていくあそびです。

どちらのあそびも子どもたちが大好きなあそびです。

貼り終わると嬉しそうに「出来た」と拍手をしている子どもたち。

「できた」「やったー」の達成感を楽しく遊びながら感じて欲しいと思っています。





栗東市たんぽぽ教室

栗東市安養寺190番地(栗東市総合福祉保健センター内)

TEL 077-554-6114 FAX 077-554-6116

■たんぽぽ教室

午前は主に未就園児クラス、25名、午後は並行通園児クラス39名の子ども達とその保護者が利用しています。

子どもや保護者にとって安心できる場所、いっぱい遊べる場所、自分の力を発揮できる場所、となるよう楽しい活動を積み上げています。

■午後のクラス(並行通園児)の療育活動の紹介

3、4歳児混合クラスが3クラス、5歳児クラスは1クラスとなっています。

(1クラス約8名)

幼稚園、保育園とは違い、小集団だからこそできる、子どもに合わせた丁寧な取り組みをしています。活動の中で、『わかった!』『やってみよう!』『できた!』『またやりたい!』という気持ちが育ち、自信につながるように指導をしています。

【活動のねらい】

- *簡単なルールを守りながら遊ぶ。
- *遊びの中で、お友だちと関わりながら遊ぶ。

【活動のひとコマ】

- *セラピーボールをころがし(3・4歳児クラス)



ルールの説明を聞き見本を見た後、順番にスタートします。早くやりたい!とはやる気持ちを抑えて名前を呼ばれるまで待ちます。力加減を調節しながら目標に向かってボールを転がし、うまく行かなくてももう一度挑戦してみようとかんばります。友だちがしている様子を見たり、応援する気持ちも大事にしながらゲームを進めていきます。

＝愛犬つくし教室の今年度の取り組みについて＝

☆愛犬つくし教室は、1親子に1担当というマンツーマンの対応を基本とし、日々療育を進めています。療育の進め方、子どもさんへの対応なども、ミーティングを重ねながら職員全員で考えて取り組んでいます。しかし、教室内のスタッフだけでは気付けないことあると思い、今年は8月に、スーパーバイザーのG先生を迎え、現場に実際に入ってもらいながら、改めて療育を見直す機会を作りました。

～この機会に考えたこと～



保護者さんに了承を得てビデオを撮らせてもらいましたが、改めて見ると、声かけが早かったり、多かったり・・・(＞_＜) もっとこの場面ではこう関わった方がよかった・・・と反省がたくさん出てきました。ビデオに撮って見直すことはとても勉強になりました。

離席が多い子どもたちへの対応のこと、全体活動時どのようにルールを知らせていくかなどを考えながら、3週にわたって改善していきました。結果、離席が減ったり、ルールを守って活動に取り組めるなど、子どもたちの様子も少しずつ変化が見られていました。子どもたちが成長していくために、大人の関わり、適切な対応は本当に大事なことです。



発達年齢に応じた遊びをしていくことがいかに大切かということを改めて考え直すことが出来ました。また、大人がどんなリアクションをして、子どもの興味をひきつけるか、声かけ、働きかけのタイミングの重要性など、G先生の関わりを見ながら、学ぶことが出来ました。



＝その他の取り組みの紹介＝

☆平成19年度から教室では、1か月～2か月に一度、地域の保育園、幼稚園の先生らと共に、合同勉強会を開いています。教室、保育園、幼稚園で順番に気になる子どもさんやクラスのケースを出し、みんなで子どもの課題や関わりについて意見を出し合ったり、スーパーバイザーのアドバイスを聞いたりし、今後の保育、療育につなげています。

■湖の子園の紹介

平成24年4月より児童発達支援センターとなり、通称「草津市立発達支援センター 湖の子園」として新しくスタートしました。そして、保護者の長年の願いであった毎日通園クラスがついに実現・・・！！年齢や発達の状況に合わせて週5日・2日・1日通園があり、全員で50名程度の子どもたちが通っています。

湖の子園では午前9時30分から午後2時30分までの療育を行っています。毎日親子で元気に登園され、ふれあい遊びをした後は保護者とさよなら（ちょっぴり涙）。大好きな先生や友達とたっぷり遊んでいると、ガラガラ・・・と給食のワゴンの音が。好きなものも食べられる量もそれぞれですが、みんなで一緒に食べる給食は大切な時間です。ごちそうさまの後はお昼寝。遊び疲れてたっぷり眠る子どももいれば、まだまだ遊び足りない子どもも・・・お昼寝が終われば、お待ちかねのお迎えです。

このように、湖の子園では子どもたち自身が発達の主人公になっていけるように、生活や遊びを大切にしています。親子にとって「昨日があるから今日、そして明日もまた来なくなる」湖の子園を目指して、療育内容を充実させていきたいと考えています。

■ある日の湖の子園の1コマです



遊戯室 遊戯室でみんなが大好きな物…

♪大きな斜面台…高さや大きさは組み立て次第。実は牛乳パックの手作りです。「3, 2, 1, シューッ！」

♪大きなエアポリン…ピョンピョン跳べば心も弾む！先生や友達と一緒にジャンプ！

他にもボールプールやホーススイングなどでダイナミックに遊んでいます。



テラス おひさまの下でいっぱい遊ぼう！

湖の子園は建物の3階にありますが、屋上テラスが併設されています。テラスで最近ブームなのは、石鹸遊び。タライや洗濯板なども出して泡立てるのを楽しんだり、シャボン玉遊びをしたりしています。

砂場で型抜きをしたり、三輪車に乗ったり、夏場には大きなプールで水遊びもします。



給食 「今日のごはんは何かな～？」

廊下には本日の給食が展示されています。テラスから教室に戻る時に子ども達がながめたり、お迎えに来た保護者の方がのぞいていたりします。この日の献立は、チキンソテー、小松菜としめじの和え物、かぼちゃの味噌汁、ごはんでした♪

長浜市こども療育センター わかば園

今回は、“公園遊び”を紹介します。

長浜市こども療育センターわかば園では、近くのB&G海洋センターという公園に遊びに行きます。わかば園からは徒歩で15分ほどのところにある公園です。年長・年中のお子さんはわかば園から徒歩で行き、低年齢お子さんは保護者の方の車で現地集合して職員と遊びます。

この公園には、ローラーすべり台、ブランコ、総合遊具があります。ローラーすべり台に行くためには階段を上っていき、滑ってはまた上っていくことを繰り返します。普段は体を動かすことが苦手なお子さんでも繰り返し楽しんで遊具で遊んでいます。

「〇〇くんの次」と言って順番を待ったり、待っている子のために自分が使っていた遊具を譲ったりと、コミュニケーションの力をはぐくむこともできます。



この公園には、どんぐりもたくさん落ちているので、どんぐり拾いをするお子さんもいます。「これは小さいね」「もっと大きいのがあったよ」「たくさん拾ったよ」「袋に入れて」とお子さんと職員や保護者の方との会話も広がります。近くの認定こども園や小学校のお子さんたちも遊びに来られ、遊具を譲り合ったり、真似て遊んだりしています。

今の時期（秋）や春にはぴったりの遊び場です。

大津市立北部子ども療育センター わくわく教室

わくわく教室は豊かな自然環境のなか、子どもたちがのびのび生活したりあそんだりしています。春や秋には自然のなかへ散歩に出かけ、夏まつりではアカハラ・カエルなどに触れたりザリガニ釣りをしたり、冬には雪だるまやかまくらを作ったりと、四季折々の自然を肌で感じられる経験を大切にしています。

また、わくわく教室敷地内の畑では、夏野菜やいも、冬野菜などを育てており、自分たちで収穫した野菜をクッキングで味わったり、みんなで焼き芋を楽しんだりして、食べることへの期待につながって欲しいと願っています。



わくわくの畑で収穫したとうもろこし。“皮をむいて～”と真剣な表情です。
とれたてはとっても甘くておいしかったです。

近くの溝にいたザリガニ。手で触るのはちょっと怖いけれど、手作りの竿にスルメイカをつけて…。ザリガニさん釣れるかな？



冬野菜の苗植え。
野菜を入れる穴を掘って、そーつとそーつと苗を運んで植えました。
出来た野菜をクッキングして食べるのが楽しみです♪



お家の人と一緒に近くの神社までお散歩へ。
小川をのぞいて見よう～。カニさんいるかな？小石を投げたら音がしておもしろかったよ。



こんにちは。やまびこ園・教室です！

やまびこ教室（週2日）は、大津市のやまびこ総合支援センター1Fにあります。主に保育園や幼稚園に就園する前の2、3歳児の子どもたちが通っています。やまびこ園（週5日）と合わせて60名程の子どもたちが通園しています。やまびこでは、遊ぶ・食べる・寝るといった日中（10時から15時）の子どもたちの生活を軸として、療育を行っています。今回は“あそび”のほんの一部を写真で紹介させていただきます。（季節によって設定は異なります。）

やまびこといえば… **ダイナミック斜面！！**



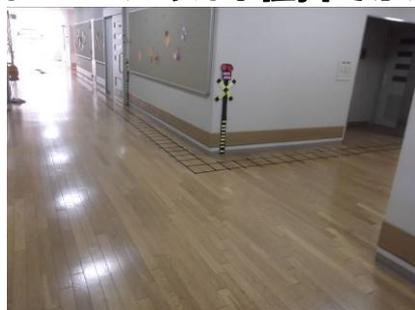
お父さんの手づくり斜面なんですよ。
おともども一緒に楽しんできまーす。
幅広だからお友だちともすべれちゃうね♪

ボールコーナーでは… **サーフィンみたいにも遊べちゃう～！**



カラフルボールは気分もワクワク♪穴落としや
コロコロ坂道など1人でもじっくり楽しめるよ。
大胆にボードに乗ってもよし！

廊下にも… **いろんな仕掛けがいっぱい！**



いろんな場所で好きなあそびを見つけられたら
いいね。廊下も立派なあそび場です☆

廊下はぐるりと一周できるので、まてまてあそびも毎日盛り上がってまーす。



吊りおもちゃは季節ごとに変わります。



はこ電車で子ども同士が引っ張り合いっこしたり、自分が電車になったり…。



おおっ！何じゃこりゃ～。
ひっぱり出したら止まりません。

ほかにも楽しいことがいっぱい★

夏には屋内プールに入ったり、秋には芋ほり、サンマ焼きなど季節に合わせた行事がありますよ。

ぞうさん教室

湖南省 発達支援室

湖南省ぞうさん教室では、児童発達支援事業（集団療育）、個別療育を行っています。

集団療育は、子どもの姿に合わせたクラス編成の中で、いろいろな活動に取り組んでいます。どのクラスでも、身体づくりのための体操や遊び、排泄・食事・着脱などの基本的な生活習慣へ取り組むと共に、さまざまな遊びを通して、人との関係を育て、自発的に行動できることや達成感を感じることを大切にしています。

個別療育では、新規に療育に通園するケースや、様々な理由で集団療育を利用することが難しいケースなどに対応し、それぞれの発達状況や課題に合わせて療育を行っています。

★今回は、集団療育 ぱんだ組の取り組みを紹介します。

- ねらい**
- ・子どもが主体となった活動の中で、自分で気づき、わかり、判断して行動する
 - ・他者との関わり、やりとりする力を育てる
 - ・社会的なルールやマナーを学び、生活体験を広げる

課題遊び 市内公園散歩、図書館へ行く、買い物へ行く、クッキング、イス取りゲーム等

★課題遊びの一つ、公園への散歩の活動では・・・

大人と手をつなぎ歩くこと、また、交通ルールを知り、道路を歩く・バス等の公共交通機関を利用する経験をします。



出かける前に、交通ルールを確認。



持ち物・でかける準備は
自分で気づいてできるかな。



スケジュールを見ながら、出発！



公園に着いたら、いっぱい遊びます♪